

学校関係者評価報告書
令和4年度（2022年度）

令和5年（2023年9月）

学校法人電波学園

名古屋工学院専門学校 専門課程

学校関係者評価委員会

委員長	中野 孝則	吉田電気工事株式会社 代表取締役社長
副委員長	清水 薫樹	株式会社ナイトメアスタジオ 代表取締役
委員	横井 祐輔	株式会社シーエスイー 管理本部 総務部 課長
〃	橋本 裕	株式会社セントラルビデオ 取締役
〃	西部 伸治	メイワトラストテック株式会 社 代表取締役
〃	立松 祐一	株式会社 TMW 執行役員
〃	葛谷 徹	父母等の代表 (メディア学部)
〃	小川 素弘	父母等の代表 (テクノロジー学部)

目 次

I	学校関係者評価の基本方針	P. 1
II	重点目標に対する評価	P. 1
III	評価項目の達成及び取組状況	P. 3
	(1) 教育理念・目標	P. 3
	(2) 学校運営	P. 3
	(3) 教育活動	P. 4
	(4) 学修成果	P. 5
	(5) 学生支援	P. 5
	(6) 教育環境	P. 6
	(7) 学生の受入れ募集	P. 6
	(8) 財務	P. 6
	(9) 法令等の遵守	P. 7
	(10) 社会貢献・地域貢献	P. 7
	(11) 国際交流	P. 7
IV	今後の改善方策についての意見と具体的な改善方策	P. 8

I 学校関係者評価の基本方針

1. 学校の教育目標、計画に沿った取り組みの達成状況、学校運営等への取り組みが適切に行われたかについて自己評価を行い、学校運営等の課題について、継続的に改善を図るとともに、評価結果を公表する。
2. 自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、設置学科に関連する企業・団体、卒業生、保護者など、学校が密接に関係する者の理解促進を図り、継続した連携体制を確保するため、業界関係者、卒業生、保護者等学校関係者から規程に基づき選任した委員による「学校関係者評価委員会」を設置し「学校関係者評価」を実施する。当該委員会の委員の助言、意見などの評価結果を学校運営等の改善に活用する。評価結果と改善への取組を本校公式 Web サイトに掲載し広く社会へ公表する。

II 重点目標に対する評価

(2022 年度の重点目標)

次の4つの視点から、教育の質の維持・向上を図り、入学した学生が安心して学び、生活できる教育体制を実現する。

1. 教員の質
 - 1) 公開授業を通じた教員相互間の評価、学生授業アンケートのフィードバック、あるいは教員研修への積極的参加等を実施することにより、教員の教育力向上を図る。
2. 教育内容の質
 - 1) グランドシラバスおよびそれに基づくシラバスの点検・整備等により、自らカリキュラムの更新を継続するとともに、教育課程編成委員会において企業からのアドバイスをいただくことにより、社会から必要とされる知識・技術を兼ね備えた人材の育成を図る。
 - 2) より実践的な教育を進めるため、企業あるいは関連業界団体とのより一層の連携を図る。
3. 教育成果の質
 - 1) 各分野・学科が設定している教育目標の達成度向上に向けた工夫を行い、より高い成果を実現する。
 - 2) 就職を教育成果の最終成果ととらえ、就職率向上に向けた施策を実施する。
4. 学習環境の質
 - 1) 学生が、日常において教育を受け生活する校舎および教育施設・設備の充実について、継続した施策を実施する。
 - 2) 卒業直前に、在学期間における本校の教育サービス全般(ハード面、ソフト面)について学生の満足度調査を行い、その結果に基づいて学習環境の改善を図る。

(2022年度の重点目標から作成した学校目標に対する評価・意見)

1. 近年の学生を見ていると、性格の大人しい学生が多いと感じます。我々が第1に希望する学生はコミュニケーションを、重要視して居ますので学校でもそのあたりの教育をお願いします。(企業)
2. 学校目標におきまして、具体的に現在から未来における学校としての在り方を正確に把握されており、改善点も含め計画、立案、実行が正しく設定されておりますので、大変良いかと認識しております。(企業)
3. ほぼ、学校の基本方針等に合っている。(企業)
4. すべての目標において具体的で実行可能なものである。特に教育力の維持・向上および質の向上は専門性や時流に乗っていかねばならない貴校には必要不可欠だと思います。就職率の向上は学生への後方支援(体験型)がかかせないし、手厚い寄り添いのサポートが必要。在籍者の確保は学生へのケアを今までもされているのでサポートが万全であれば達成できる。優秀な人材は自立の精神があると育成できる。社会貢献、地域貢献も進んでされているので良い。組織基盤の強化も良い。(父母等)
5. 各学科に企業と連携して委員会の設置や企業とのコラボでセミナーやインターシップを実施しており、社会現場のリアルな意見を取り入れながら目標・課題の設定と実施をしておられるので、より良い学習環境が整っているのではないかと感じます。(企業)
6. 資料や子どもから学校の様子を聞いております。専門知識をしっかりと学ぶことができ、技術を習得できている学生が多く、就職率が非常に高く素晴らしいと思います。大学を卒業しても採用されない大手企業への就職が多く、戦力として採用いただける人材の育成のたまものだと実感しました。最新技術ということでA I イノベーション学科の新設ということで、今後もっと必要とされる分野ですので、期待しております。(父母等)
7. 問題点を適切に捉えて、対処しています。またセクション毎の目標だけでなく、技術系人材を育成するための新たな模索を続けている点が評価できます。(企業)

III 評価項目の達成及び取組状況

自己評価（4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切）結果に基づき、学校関係者評価委員より評価いただいた。学校関係者評価は各々の評価委員から回答のあった評点の平均をとって算出している。

(1) 教育理念・目標

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
B. 学校における職業教育の特色は定められているか	4	4
C. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4
D. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者・関係業界等に周知されているか	4	3.9
E. 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	4

(2) 学校運営

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
B. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
C. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
D. 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3.9
E. 教務・財務等の組織整備等意思決定システムは整備されているか	4	4
F. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
G. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
H. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4

(3) 教育活動

評 価 項 目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
B. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた 学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
C. 学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
D. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立った カリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4	4
E. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4
F. 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に 位置づけられているか	3	3.9
G. 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
H. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
I. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
J. 資格取得等に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
K. 人材育成目標に向けて授業を行うことができる 要件を備えた教員を確保しているか	4	4
L. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保する等マネジメントが行われているか	4	4
M. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	4	4
N. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	4

(4) 学修成果

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 就職率の向上が図られているか	3	3.9
B. 資格取得率の向上が図られているか	4	3.8
C. 退学率の低減が図られているか	3	3.5
D. 卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3.5
E. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3.8

(5) 学生支援

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 進学・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
B. 学生相談に関する体制は整備されているか	4	3.9
C. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
D. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3.9
E. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3.9
F. 学生の生活環境への支援は行われているか	4	3.9
G. 保護者と適切に連携しているか	4	3.9
H. 卒業生への支援体制はあるか	4	3.8

(6) 教育環境

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3.9
B. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3.9
C. 防災に対する体制は整備されているか	4	3.9

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか	4	3.9
B. 学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
C. 学生募集活動において、教育成果（資格取得・就職状況等は正確に伝えられているか	4	3.9
D. 学生納付金は妥当なものとなっているか	4	3.9

(8) 財務

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
B. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
C. 財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
D. 財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

(9) 法令等の遵守

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
B. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
C. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	4
D. 自己評価結果を公開しているか	4	4

(10) 社会貢献・地域貢献

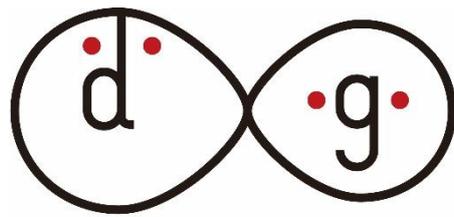
評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
B. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3.9

(11) 国際交流

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3.9
B. 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3.9
C. 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3.9

IV. 今後の改善方策についての意見

1. 退学率低減に向けては事後対応だけでなく、仕組みで事前に対応出来る方法を模索していただけると良いように感じました。(企業)
2. 100%の就職率を目標にされておりますが、就職先は様々であり、企業の理念もその就職先で違います。是非、学生さんには、就職後の勤め先での経験や思いをお聞きして、今後更に学校での教育に活かさせていける仕組みを今以上に進めて頂き、我々にもフィードバックしていただければ幸いです。(企業)
3. 卒業生に対しての情報等をもう少し把握が必要だと考えます。また、卒業生(離職者に対しての)就職先のあっせんなども視野に入れてみてはどうかと考えます。(企業)
4. 企業や関連業界団体との連携強化が重要ではないかと感じます。現状の社会・企業の流れや各業界のリアルを知らなければ今後の戦略・戦術を立てることができません。一つの例を挙げさせていただきますと自動車製造業の中小企業がOEMメーカーから求められることが近年変化をしてくれております。金型業界では、一昔前までは客先仕様書通りの金型を作り納入するだけで良かった、これが当たり前でした。※メーカーから型メーカーへのトップダウンがメインであった)ですが、近年はその金型にどのような付加価値を付けるか、金型で作る自動車部品のデザインや新しい材料・工法などのソリューションの提案が我々型メーカー(中小企業)にも求められるようになっております。※型メーカーからメーカーへのボトムアップこれらのことができないと中小企業は簡単には生き残れない時代になっています。ざっくりした表現で申し訳ありませんが、より柔軟なアイデアを持ち、そのアイデアをカタチにできるスキル・人材が必要になってきます。既に取り組んではおられますが「アイデアをカタチにできる人材の育成」にピックアップした改善方策も良いのではないかと感じます。(企業)
5. 学校評価ではないですが、AIの取り組みが進んでいるのでLLMなど、生成AI系についても力を入れると愛知県で先進の学校になると思います。(企業)
6. 全般事項において、他の学校(同業種)や異業種の実施されていることにアンテナを張っていただき、手前みそにならないように推進されると良いと思います。(父母等)
7. 退学者がいるのは仕方ないことだと思います。普通高校を卒業し専門知識を学ぼうと入学してきても不向きと感じ退学する学生もいると思います。ですが他の専門学校のようにもっと遊べると思ったとか、休みがすくない、朝から夕方まで授業があるといった不満を聞いたことがあります。学校紹介パンフレット等でも明記されていると思いますが、厳しい学校だということも入学前に学生に知ってもらえると良いと思います。専門知識を学び技術を身に着けた学生がほとんどだと思いますが、コミュニケーションをとるのが少し苦手な学生もいます。社会に出てコミュニケーションは重要になってきますので、コミュニケーション能力を高める学習もあるとよいと思います。(父母等)



ありがとう、と言われること。

電波学園